はちにの

マネーらいふ

第3号
2012年冬号
発行
2012年1月20日

特集 2012年の資産づくりを考える
みなさんのご不安　八十二銀行が
じっくりご相談させていただきます

自分らしく生きることは
自分らしくお金を使うこと
鎌田　實

連載コラム 第三回
良い「波」を起こす行動を

あなたの街の八十二銀行
須坂支店

3時限目 はちにの投信教室
「リスクとリターン」
～運用の「可能性」を数字で確認する～

八十二銀行

発行：株式会社金融リテラシー研究所　編集協力：株式会社八十二銀行　投信データ提供：モーニングスター株式会社

はちにのマネーらいふ

2012年冬号 発行:2012年1月20日

目次

連載コラム 第三回
3 自分らしく生きることは 自分らしくお金を使うこと
諏訪中央病院名誉院長　鎌田實

はちにの経済スコープ③
4 なぜ、欧州では国債利回りが上昇しているの?

2012年の資産づくりを考える
5 みなさんのご不安　八十二銀行がじっくりご相談させていただきます

8 新春セミナーのご案内

ネットで投信活用術①
10 申込手数料率が店頭扱いよりマイナス0.5%!(課税前)

11 2月の資産運用セミナーのご案内

はちにの投信教室　3時限目
12 「リスクとリターン」〜運用の「可能性」を数字で確認する〜

13 あなたの街の八十二銀行　須坂支店

15 はちにの投信データ

●本誌は、投資信託等に関する情報の提供を目的として株式会社金融リテラシー研究所が作成したご参考資料であり、特定商品や有価証券等の勧誘を目的としたものではありません。
●本誌は、作成日現在の信頼できる情報に基づいて作成されておりますが、完全性を保証するものではありません。

表紙の写真
「蔵の街」須坂のシンボルの一つ「田中本家博物館」。美しい白壁や庭園は、須坂藩をも上回るといわれた北信濃屈指の豪商の面影を今に伝えます。

(関連記事:P13あなたの街の八十二銀行須坂支店)

イラスト:shiori(P4)、本山浩子(P5〜7)

投資信託に関するご留意事項

■投資信託のリスクについて

投資信託は預金商品ではなく、元本の保証はありません。投資信託の基準価額は、組入れ有価証券等の値動きにより変動するため、投資元本を割込むリスクがあります。主なリスクには、組入れられる株式・債券などの価格変動による「価格変動リスク」、発行体の経営・財務状況や外部評価などの変化による「信用リスク」、「新興市場上場株への投資リスク」、日本以外の外国の株式・債券などを組入れ有価証券などとして投資を行う場合、為替相場の変動による「為替変動リスク」などがあります。これらのリスクはお客さまご自身にご負担いただきます。投資されるファンドのリスク・留意点等の詳細につきましては、当該ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

■投資信託にかかる手数料など諸費用について

投資信託は、ご購入時等に各種手数料がかかります。投資信託全般にかかる主な手数料は、平成23年12月30日現在以下の通りです(八十二銀行では、以下の手数料率を上限に手数料をいただきます。なお手数料は各ファンドにより異なります)。投資されるファンドの手数料等の詳細につきましては、各ファンドの目論見書でご確認ください。

【申込手数料率】申込金額の最大3.15%(税込)
【信託財産留保額】換金時の基準価額の最大0.50%
【信託報酬】ファンドの純資産総額に対し年率2.0%以内(税込)
※投資対象ファンドが成功報酬制を採用している場合、成功報酬額は運用実績により変動しますので、事前に料率・上限を表示することができません。

*各ファンドにかかる費用の最大合計額は、保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

■その他ご留意点について

○投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。
○当行は投資者保護基金の会員ではなく、同基金による保護の対象ではありません。
○当行は投資信託の販売会社です。投資信託の設定および運用は、投資信託委託会社が行います。

投資信託をご購入の際は、目論見書を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。目論見書は、八十二銀行の本支店にご用意しております。(当行ホームページでもご覧いただけます。)

第三回

良い「波」を起こす行動を

自分らしく
生きることは
鎌田實
自分らしく
お金を使うこと

人生、長いこと生きていると健康でなくなったり、気分が落ち込んだり、仕事がうまくいかなかったりすることがあります。でも大丈夫。人生は「波」ですから。悪い時があれば必ず良い時が来るはずです。

精神科の名医は、うつ病をなくそうとするのではなく、気分の浮き沈みの波をできるだけ小さくするよう治療を施します。波そのものをなくすことはできない。でも波を小さくすることはできる。これを忘れてはなりません。

憂鬱なことを英語で「デプレッション＝depression」と言いますが、これには不景気という意味もあります。心に波があるように、経済にも波があります。

悪い波が来て経済が停滞していたら、良い波を早く起こしてあげることが大事です。みんな萎縮してしまったら悪い局面から脱することができなくなってしまいます。だからお金に余力のある人が少しでもいいから使ってあげる。人より半歩先に動いて、消費をしたり投資をしたりする。そう考える人が増えれば、良い波がやってくるはずです。

日本には1400兆円もの個人金融資産があります。もしその1%でも使ったら14兆円ものお金が動くことになります。円高で輸出が大変だといいますが、これだけの金額が動けば、内需だけで十分、日本の経済は活性化します。元気になります。

少しでも良い波を起こしたい。その一心から毎年チョコ募金を始めることにしました。1缶500円のうち300円を、劣化ウラン弾の放射能が原因で小児がんに苦しむイラクの子どもたちの医療支援に、そして50円を福島の子どもたちを放射能から守る活動に充てています。

今回は14万個作りましたが、缶の製作をお願いしている中小企業の方は「不景気なのでありがたい」と喜んでくれます。発送は障がい者の方に担当していただいています。「仕事ができるのでうれしい」と言ってくれています。

経済が悪い時こそお金を使う活動があれば、世の中にお金や仕事が回り、景気が良くなるきっかけになります。消費でも投資でもいい。良い波を起こす行動を始めてみてください。

景気が悪い時こそ
お金を使えば、
経済が良くなる！

かまた・みのる／医師・作家。1948年東京生まれ。東京医科歯科大学医学部卒業。37年間、医師として地域医療に携わり、チェルノブイリとイラクの救援活動にも取り組む。ベストセラー『がんばらない』をはじめ、『ウェットな資本主義』など著書多数。現在、諏訪中央病院名誉院長。

みなさんの じっくり ご不安 八十二銀行がじっくりご相談させていただきます

将来やライフプランの実現に向けて始めた投資信託（ファンド）。でも、実は少し不安なところも…。そんなみなさんのご相談に、八十二銀行のスタッフがじっくりお答えします。ぜひご参考にしていただき、2012年の資産づくりを考えてみてはいかがでしょうか。

ご不安 その1

今、保有している投資信託をこのまま持ち続けて大丈夫？

八十二からのアドバイス

不安の原因と運用の「目的」を確認しながら考えてみましょう。

まずは「不安の原因」を分解します。

①持っているファンドの基準価額が今後もっと下がるのでは？
②現在、受け取っている分配金は、これからも期待できるか？
③基準価額の上昇に期待できるのはどのようなファンドか？

※①～③に対するアドバイスは「その2」以降をご覧ください

また、投資信託での資産運用を始めた「目的」はどのようなものでしょう。「こつこつ受け取りたい」「マーケットの動きを見ながら運用を楽しみたい」――。「不安の原因」と運用の「目的」を確認しながら考えてみてはいかがでしょうか。

ご不安 その2

基準価額はまだ下がるの？

八十二からのアドバイス

基準価額が動く要因はファンドのタイプによって異なります。
運用レポートなどで「分解」して確認しましょう。

基準価額が大きく下落しているファンドは、これから先どうなるのか、とても気になります。そこでご確認いただきたいのが、お持ちのファンドの基準価額の変動要因です。

変動要因は、ファンドの投資対象「資産」と「為替」に分けて考えます（P6【図表1－1】）。

まずは、「資産」の主な価格変動要因を確認してみます（同【図表1－2】）。

今がどのようなマーケット環境にあるのかを合わせて考えてみると、下落の要因がわかります。

一方で、このようなマーケット環境においても、価格が上昇している資産があり、すべてのファンドの基準価額が下落しているわけではないこともご確

私たちがお答えします！

八十二銀行 個人部 投資型商品グループ
羽生 真由美さん　**北明 暁代**さん

認いただけます。

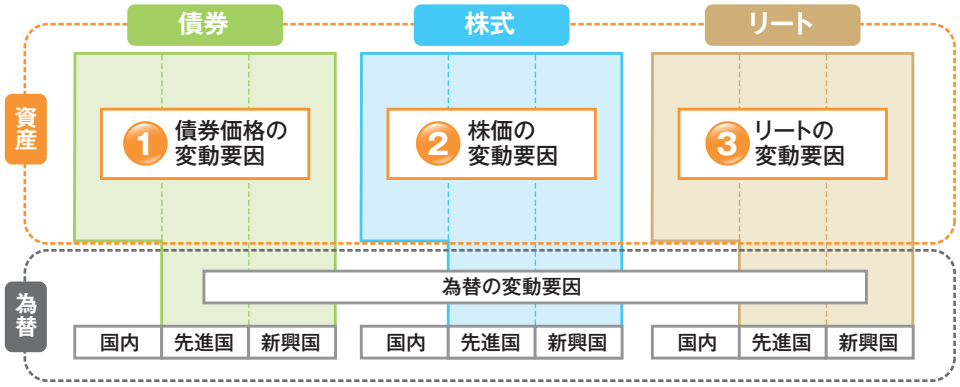
次に、「為替」の変動要因を確認してみます。

基本的に、「債券」「株式」「リート（不動産投資信託）」などは、リスクに見合ったリターンを期待できる「期待値がプラス」の「資産」であるのに対し、為替は2国間の「力」のバランスによって価格が決まるため、「期待値は0」ニュートラル」です。大切なのは、その国・地域（通貨）の資産に魅力をお持ちになるかどうかです。

基準価額がこれから先も下落するかどうかは、投資対象資産の価格やその通貨（国・地域）が円と比較してどのように変動するかによります。

このマーケット環境でも、値動きが堅調な資産を確認すると同時に、世界経済が欧州危機を脱して再び安定成長に戻ったときに、いち早く回復をとらえることができる資産や、資金が大きく戻ってくることが想定できる通貨（国・地域）を今のうちから把握しておくことも必要かもしれません。

【図表1-1】基準価額に影響を与える主な要因をタイプ別に「分解」してみましょう



【図表1-2】主な価格変動要因を確認してみましょう

資産

1 債券価格の主な変動要因

★国内物価
物価が安くなると金利引き下げによる債券価格の上昇が発生しやすくなります。
例 物価下落⇒政策金利引き下げ⇒債券価格上昇

★国内景気
景気悪化時には、企業が金融機関からの借入を減らすため、銀行が余剰資金を債券市場に振り向けることで、債券価格は上昇しやすくなります。
例 景気悪化⇒企業の資金需要が減退⇒金融機関の貸出が減少⇒金融機関は資金を債券市場へ投入⇒債券価格上昇

★海外要因
海外の金利が低下すると、国内債券の魅力が相対的に高まるため、国内債券価格は上昇しやすくなります。

2 株価の主な変動要因

★企業業績
成長が期待できる企業の株価は、上昇が期待できます。
例 業績好転 ⇒ 純利益増 ⇒ 企業価値の増大 ⇒ 株価の上昇
業績悪化 ⇒ 倒産懸念 ⇒ 需要の減少 ⇒ 株価の下落

★投資家心理
多数の投資家が「今後、株価が上がる」と考えると需要が増加し、株価は上昇します。逆に多数の投資家が「下がる」と考えると、需要が減少して株価が下落します。

3 リートの主な変動要因

★金利の変動
金利上昇は、借入を行っているリートにとって利子支払いの増加となり、リートの収益の圧迫要因となります。ただし、景気拡大時の金利上昇は、不動産価値や賃料の上昇につながり、リート価格が上昇する要因となることもあります。

為替

為替の主な変動要因

★資本移動の観点から
資金は、より有利な対象を探して世界中を動き回ります。
例 「より金利の高い国はないか?」（その国の通貨が買われます）
「より株価が上がりそうな国はないか?」（同上）

★物価動向の観点から
2国間の同じモノが同じ価格になるように為替は決定されます。
例 日本より米国のほうがインフレ率がより高くなり、インフレ格差が拡大すれば、米ドルは売られがちです

ご不安 その3

分配金が下がったので解約したい…

ハナニからのアドバイス

分配金の内訳と運用資産への期待を確認しましょう。

投資信託の分配金は、ファンドの資産の払い出しですので、まずは分配金の内訳を確認することが大切です。

お持ちの投資信託の「運用報告書」をご覧いただくと、P7【図表2】Ⓐ～Ⓓのどの部分から分配金が拠出されているかをご確認いただけます。

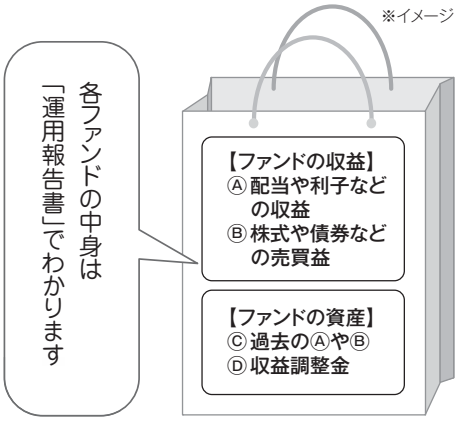
ⒶやⒷはファンドが実際にその決算期間中に稼いだ収益です。

このⒶやⒷが低下しても、ファンドはⒸやⒹから分配金を支払うことができますが、こちらは実際の稼ぎではなく、ファンドの資産そのものから出し

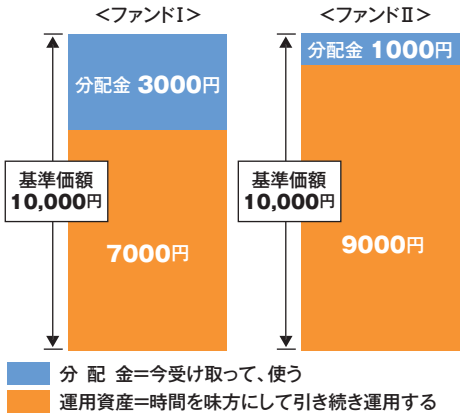
ていますので、その分基準価額は下落します。分配金は運用の結果をどれだけ出して、どれだけ残すかの比率だという点も確認しておきましょう【図表3】。

そこで確認したいのは、そもそも運用資産に「どの程度の稼ぐ力」を期待しているかです。P5「その1」で確認した「運用の目的」と、「その2」で確認した「投資対象資産（債券や株式など）の今後への期待」がここでも大切なポイントです。

【図表2】分配金の原資（＝元手）は4つあります



【図表3】「今もらう」か、「運用する部分を残す」か



ご不安 その4

経済が見通しにくい今、どのように運用すればいいの？

今後どのファンドの基準価額がどのくらい上がるか、正確に読むのは難しいことです。見通しにくい時代だからこそ、多数の銘柄を組み合わせて値下がりリスクを分散する。複数の株式や債券などで運用する投資信託は一つだけでも分散投資効果が期待できますが、複数のファンドを組み合わせて持つと、より安定した運用成果が見込めます。

【図表4】をご覧ください。例えば、「海外債券型（先進国）」と「国内株式型」の2ファンドをお持ち方は②④の枠内にファンド名をご記入いただきます。もし、次のファンドを検討する際は、空いている箇所のタイプのファンドを選ぶことで、より分散の効いた資産運用に近づくことができるでしょう。

さらに、資金を小分けにし、複数回に分けて購入するなど投資タイミングを分散することは、投資資金全額で高値づかみするリスクを抑えるために有効です。安定感のある資産づくりについては、ぜひ八十二銀行の支店窓口までお問い合わせください。

八十二からのアドバイス

投資信託での長期投資において、定期的な見直しの際に取り得る選択肢は4つですが、見通しにくい時代だからこそ大切なポイントがあります。

投資信託での資産運用に迷ったら…

1. 現在持っていないタイプのファンドを加えてより分散を効かせる
2. 現在持っているファンドを買い増して将来の上昇局面に備える
3. 現在持っているファンドはいったん解約しよりリスクの低いファンドで運用
4. ひとまず現状のままで経過をみる
   ! 次に見直すタイミングを事前に決めておきましょう。

【図表4】お持ちのファンドの投資対象を確認しましょう

	国　内	海　外	
		先進国	新興国
債　券	①	②	③
株　式	④	⑤	⑥
不動産投信（リート）	⑦	⑧	“分散投資”の中身を確認！

もっと詳しく！ P12の「投信教室」をご覧ください。リスク・リターンの傾向が異なるファンド同士を組み合わせると高い分散効果が期待できます。

はちにの 新春セミナーのお知らせ

参加無料 1/28(土)

事前予約制 定員:各150名様
※定員になり次第、締め切らせていただきます

八十二銀行では恒例の新春セミナーを開催します。
2012年春にJPモルガン・アセット・マネジメントが考える投資戦略について、下記のテーマで解説いたします。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

※セミナーお申込は、
予約専用ダイヤル(0120-82-5082)または
八十二銀行ホームページ
(http://www.82bank.co.jp/)で
受付いたします。

内容

第一部 **2012年の投資環境 ～躍進するアジア・オセアニアの魅力と今後の展望～**
【講師】JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社 投資信託部 部長 村上 徹 氏

第二部 **危機後の世界経済を見据えた投信活用法**
※第二部は個別商品に関する内容を含み、商品の紹介・ご購入に向けての勧誘を行う場合がありますので、ご希望者のみのご参加となります。

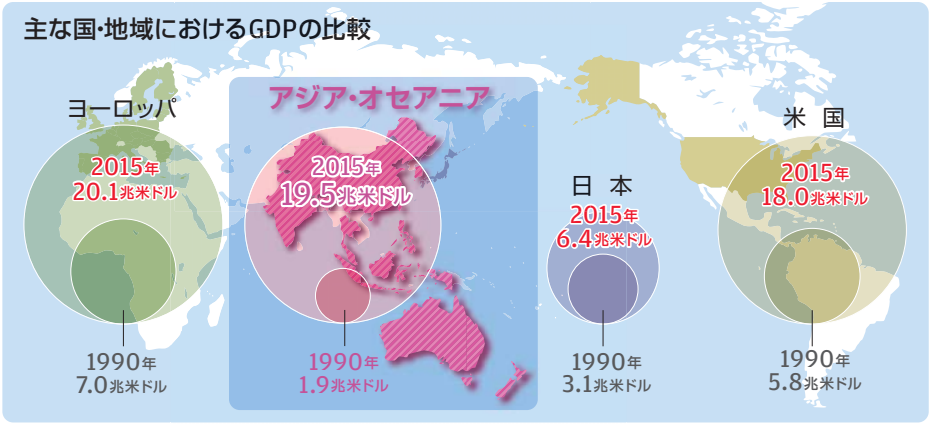
日程 1月28日(土)
- 松本会場：ホテル ブエナビスタ …… 10:00～12:00
- 長野会場：ホテル メトロポリタン長野 …… 14:00～16:00

定員 各会場 150名様 ※事前予約制

セミナーの内容をちょっとだけ！

今なぜ、アジア・オセアニアが注目されるのか？

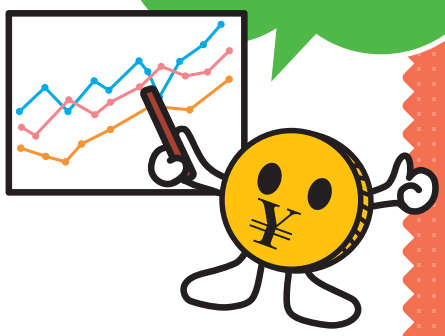
世界最大の成長センターとして期待されるアジア・オセアニアは、2015年には米国をしのぎ、ヨーロッパと肩を並べる世界３大経済圏のひとつとなると期待されています。
アジア・オセアニア各国は投資や内需主導の成長継続が期待でき、先進国に比べ相対的に優位にあると見ています。



出所：IMF World Economic Outlook Database, April 2011、2015年は予測値、ヨーロッパはEU加盟国のデータ
上記は過去の実績および将来の予測であり、その実現を保証するものではありません。

ネットで投信活用術 vol.1

インターネットでおトクに投資信託



申込手数料率が店頭扱いより▲0.5%！（マイナス）（課税前）

八十二銀行ではインターネットでも投資信託のお取引ができます。ネットならではの便利な機能が盛りだくさん。今回は「おトク」をテーマに紹介します。

八十二銀行のインターネットサービス「八十二〈インターネットバンキング〉」では、支店窓口に行かなくても、ご自宅のパソコンで、お好きなときにお取引いただけます。パソコンを囲みながらご家族で資産運用について話し合うのもいいですね。

インターネットバンキングでの投資信託お取り扱いサービスは下表のとおりです。テレビで気になる経済ニュースが流れたので保有している投資信託の残高をパソコンでチェック、なんてことも可能です。

見逃せないのがインターネットバンキングで投資信託をご購入いただくと、申込手数料率が店頭扱いより0.5%（課税前）おトクになる点。運用資金をより有効に活用できますのでぜひご検討ください。

インターネットバンキングでの投資信託お取扱いサービス

購入	当行でお取扱いしている投資信託の購入ができます
解約	お預かりしている投資信託の解約ができます
残高照会	お客さまが保有されている投資信託の残高が照会できます
取引明細照会	お客さまの投資信託のお取引明細が照会できます

※個人のお客さまのみ対象となります。
※投資信託の1回あたりのお申込金額は1,000万円未満となります（ご購入・ご解約は1ファンドにつき1日1回のみとなります）。
※八十二〈インターネットバンキング〉は、サービス内容などによりご利用時間が異なります。

こんな方は「ネットで投信」がおススメです

- 忙しくて支店窓口に行く時間がない
- 少しでもコストを抑えて運用したい
- 自宅で家族と一緒に資産運用を考えたい
- ニュースなどを見ながらタイムリーに取引したい

お申込みからご活用の流れ

STEP 1　投資信託口座（特定口座）の開設と八十二〈インターネットバンキング〉のお申込み
八十二銀行のメールオーダー郵送サービスなら、投資信託口座（特定口座）の開設とインターネットバンキングのお申込みが郵送で同時にできてカンタン!

STEP 2　八十二銀行のホームページで投資信託のファンド選び
各ファンドの投資対象・リスクや手数料、投資信託の税制などをチェックします

STEP 3　インターネットバンキングの画面上でお取引き
目論見書などの内容をしっかり確認のうえ、お好みのファンドを購入

STEP 4　インターネットバンキングでタイムリーにチェック
お取引明細や残高などをチェック。毎日の基準価額・マーケットも確認します

メールオーダーサービス、インターネットバンキングの申込書は、いますぐこちら！
○携帯電話からすぐにご請求いただけます。直接接続する場合は、
http://www.82bank.co.jp/mobile/を入力してください。
○申込書はパソコンからもご請求いただけます。**http://www.82bank.co.jp/**

八十二銀行

須坂支店

須坂市中町519
TEL.026-245-1082

お気軽にどうぞ

須坂支店　支店長
酒井 光一 さん

須坂は須坂藩主堀氏の館町として栄えた歴史ある町です。
当支店では、預金だけでなく資産運用や投資についてのアドバイスにも力を入れています。お金に関わるご相談があれば何でも構いません。ぜひお立ち寄りください。

“知らないこと”はリスク
選択肢を増やして資産設計を

須坂支店のスタッフ

八十二銀行では預金、住宅ローン、融資のご相談だけでなく、資産運用に役立つさまざまな商品をお取り扱いしています。

いわば“ワンストップ”で資産運用からローンまで、お金に関するご相談ができる場所です。投資信託、個人年金保険、外貨預金、個人向け国債などにご関心のある方、年金不安など将来の資金計画にお悩みの方は、ぜひ支店窓口にご相談ください。

当行では世界の株式や債券、不動産投信に少額から投資ができる投資信託のラインアップも充実しています。

世界経済の環境が不透明なことから、投資に関して漠然と「よくわからない」「リスクがありそうでこわい」という印象をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。

でも、実は資産設計や運用の「方法」や「手段」を知らないでいることが一番の「リスク」なのです。投資をする・しないにかかわらず、どのような手段があるのかを知っておくことが必要です。ご自身が取り得る選択肢を増やしておきたいですね。

私たちはさまざまな選択肢をご紹介させていただき、お客さまには、選択肢の中から、ご自分のニーズに合った方法を選んでいただきます。すでに保有している投資信託についても、何に投資しているのか不明な点があれば、いつでもご質問ください。

特に投資信託は定期的な見直しも大切です。お送りしている「取引残高報告書」や「運用報告書」のご確認ポイントも、支店窓口までぜひお気軽にお立ちください。

information お知らせ

無料でマネープランのお手伝い

八十二銀行の資産運用窓口では、お客さまの将来の資産設計をサポートする「ライフプランシミュレーション」を無料で作成しています。シミュレーションでは、①住宅ローン②教育費③公的年金の受取額など、長い視点での試算をし、いつどれだけ資金が必要なのかをわかりやすく明示します。

支店周辺の注目スポット

須坂といえば「蔵」で有名。明治から昭和にかけて製糸業が盛んだった頃、街には多くの蔵が建てられました。今も保存状態が良い蔵が点在し、街並み散策を楽しめます。なかでも20の蔵がある豪商の館、田中本家博物館は貴重な所蔵品が展示されており、見応えあり。本冊子の表紙も同博物館で撮影したものです。

庭園も見事な田中本家博物館